

---

GlobalFlow5 1.00R08

リリースノート

パナソニック ソリューションテクノロジー株式会社

2007 年 8 月 31 日

---

□製品情報

=====

バージョン : Ver.1.00R08

---

=== 変更内容 ===

=====

---

□機能拡張

=====

文書の末尾に「※」印がある機能をご利用の場合は GlobalDoc5 が必要です。

■Web アプリケーション

- ・ オプション画面またはユーザー設定画面で、セキュリティ編集画面などにある「設定時に画面を閉じない」設定を、ユーザー単位で制御できるように対応しました。
- ・ 書類画面に添付するファイルにファイルの追加・更新セキュリティを設定することができるようになりました。
- ・ 書類を呼び戻したことを、過去の承認者にメール通知できるようにしました。
- ・ Doc 保存アクティビティ、宛先一括設定画面の Doc 保存設定箇所に保存先フォルダーが階層表示されるようになりました。※
- ・ 簡易帳票編集機能でキーワード連携する名称を設定するとき、連携先のキーワード項目の番号を指定して設定できるようになりました。
- ・ RDBMS 保存アクティビティでエラー時の処理の設定が「処理を停止する」のとき、処理を再実行する回数と実行間隔を設定できるようになりました。
- ・ 管理メニューの一覧ソート項目に「書類番号」、「起案日時」、「書類名」が追加されました。
- ・ テンプレート管理画面で書類を否認するとき、注釈入力を必須にするかどうかの設定が行えるようになりました。

## ■サーバーツール

- ・移行ツールを利用して、GlobalFamily4 から「呼び戻しするときにメール通知する設定」情報が移行可能になりました。

---

## □仕様変更

---

### ■Web アプリケーション

- ・グループ管理者がユーザー設定画面でユーザーオプションの設定をするとき、管理下のグループに所属しているユーザー設定も行えるようになりました。
- ・Doc 保存アクティビティの保存先フォルダーに参照権がないとき、「保存先フォルダーは設定済みです。」というメッセージを表示するようになりました。※
- ・メール送信アクティビティに設定する送信先を未設定にできるように変更しました。
- ・遂行依頼メールなどの送信者の表示が、氏名<アドレス>と表示されるように変更しました。
- ・テンプレートとプロセスが相互にリンクしている場合でも、個別に更新できるようになりました。
- ・自動処理系アクティビティでエラー時の処理が「処理を停止する」のとき、到着予定一覧と回付中／終了一覧に書類が表示されるようになりました。
- ・「文書通し番号」と「通し番号」を「書類番号」に統一しました。
- ・帳票簡易編集画面の「ダウンロード」と「インポート」の表現を「帳票保存」と「旧簡易帳票取込」に変更しました。

---

## □不具合修正

---

### ■Web アプリケーション

- ・テンプレート管理画面などの親画面を閉じたとき、すでに開かれていた子画面が閉じずに残ってしまう不具合を修正しました。
- ・システム管理者が一般ユーザー宛の承認依頼メールから書類を参照したとき、強制処理のボタンが表示されず、通常の処理ボタンが表示されてしまう不具合を修正しました。

- テンプレートまたはプロセスの更新時に、リンクしているテンプレートまたはプロセスの更新日付までもが更新されていた不具合を修正しました。

=====